



外国語

## 授業実践の紹介～計画訪問 A から～

5月15日から7月4日まで計画訪問 A が行われました。その中で、外国語活動2本、小学校外国語科3本、中学校外国語科16本の指導案付き公開授業がありました。ここでは、中学校外国語科で見られた授業実践の好事例を紹介します。ポイントを確認し、2学期以降の授業の参考にしてください。

### 事例1：重点とする領域（「書くこと」）に焦点を当てた単元指導計画の工夫

第3学年 Unit3 Animals on the Red List（※実際の単元計画を基に一部抜粋しています。）

配時	小単元名	ねらい（■） 主な学習活動（丸数字）	評価規準 【評価方法】	知 技	思 判 表	態
1	Preview	■単元の目標を理解する。 ■絶滅のおそれのある動物について知っていることを伝え合う。 ①絶滅のおそれのある動物について知っていることをペアでやり取りする。 ②自分が調べたい絶滅のおそれのある動物についてペアでやり取りする。 ③単元末のゴールを確認し、自己目標を設定する。				
2	Scene 1	■自分の選んだ絶滅のおそれのある動物について、どんな問題に直面しているか、動物にとって何が難しいのか、私たちにとって何が大切なのかを書く。 ①Scene1を読んで、内容を理解する。 ②It is... (for+(人など))+ to を用いた文の特徴やきまりを理解する。 ③自分の選んだ絶滅のおそれのある動物について、どんな問題に直面しているか、動物にとって何が難しいのか、私たちにとって何が大切なのかを書く。				
4	Read and Think 1	■絶滅のおそれのある動物を守るため、自分がしたいことについて書く。 ①Read and Think 1を読んで、内容を理解する。 ②絶滅のおそれのある動物を守るため、自分がしたいことについてペアでやり取りする。 ③絶滅のおそれのある動物を守るため、自分がしたいことについて書く。				
7	Read and Think 2	■絶滅のおそれのある動物について、みんなにできることを呼びかける文を書く。 ①Read and Think 2を読んで、ゴリラが絶滅の危機に瀕している理由を表にまとめる。 ②絶滅のおそれのある動物について、みんなにできることについてペアでやり取りする。 ③絶滅のおそれのある動物について、みんなにできることを呼びかける文を書く。				
8	Unit Activity	■自分の選んだ絶滅のおそれのある動物について、絶滅危惧の主な原因や自分の考えや行動などについて、簡単な語句や文を用いて紹介文を書く。 ①自分の選んだ絶滅のおそれのある動物について紹介文を書く。 ②グループで紹介文を読み合い、良い点や改善が必要な点について伝え合う。 ③アドバイスをもとに、よりよい紹介文を書く。				
10	単元のまとめ	■単元で学習したことを振り返る。 ①単元のペーパーテストを行う。				

ポイント1  
第1時（単元の導入の時間）で、単元全体のテーマや単元末のゴールについて触れ、学習の見通しをもたせているのが GOOD!

ポイント2  
単元末の言語活動（「書くこと」と類似の言語活動に、単元を通じて繰り返し取り組ませているのが GOOD!

ポイント3  
一度書いたものをグループなどで相互に添削し、rewrite する活動を設定しているのが GOOD!

語句や文を用いて書いている。  
【ワークシート】  
(略)

## 事例2：単元のゴールと本時の学習のつながりを常に生徒に意識させる工夫

第3学年 Unit3 Animals on the Red List (2 / 1 3時間)



### ポイント

第1時(単元の導入の時間)で紹介した先生のレポート文を毎時間黒板に提示することで、生徒に常に単元のゴールの姿をイメージさせたり、本時の学習とのつながりを意識させたりしていることがGOOD!

(※事例1とは異なる学校の授業です)

## 「英語教育指導アドバイザー派遣」事業で授業力UP!

本事業は、学校の要請に応じて、英語教育指導アドバイザーを派遣し、専門的な指導・助言を得ることを通して、小学校及び中学校外国語教育における学習指導の改善を進め、教員の授業力向上を図ることを目的としています。

前期(5月～9月)は、奥能登教育事務所管内において、5つの中学校から6回の要請があり、すでに4校のアドバイザー訪問が終了しています。授業後の整理会では、アドバイザーの先生方から具体的なアドバイス等をいただくことができ、実りの多い授業研究の場となっています。

後期(10月～2月)も、ぜひ積極的にご活用ください。

### 《後期派遣》のお知らせ

【派遣期間】10月～2月

【申込〆切】令和5年8月末

#### 【実施方法】

- ・訪問1回あたり、複数学級・複数学年の授業参観を可能とする。
- ・1校あたり複数回の申込を可とする。
- ・学校は授業後に授業整理会を開催する。
- ・英語教育指導アドバイザーは、授業を参観し、授業整理会にて助言する。
- ・学校は、訪問日2日前までに、学習指導案(A4版1枚程度)を英語教育指導アドバイザーにメール等で送付する。

#### 【英語教育指導アドバイザー】

金沢大学	教授	滝沢	雄一	氏
富山大学	教授	岡崎	浩幸	氏
北陸学院大学	教授	伊藤	雄二	氏
金沢学院大学	准教授	村松	麻里	氏
金沢学院大学	准教授	上田	外史彦	氏

※その他詳細については実施要項を確認してください。

対象となる授業は、中学校外国語科、小学校外国語、小学校外国語活動です。  
小学校からの要請もぜひお待ちしております!